

2/22

小学生が和楽器に挑戦！

日南小学校4年生の児童が、箏と三味線の演奏を体験しました。児童は、まず初めに箏と三味線の音色の違いなどについて話を聞き、その後4つの班に分かれて青戸智子さん（印賀）から箏の弾き方を、圓山恩さん（下阿毘縁）から三味線の弾き方を教わりました。箏の弾き方を教わった児童は、「さくらさくら」の演奏にも挑戦しました。参加した児童は、「楽しかったけど楽しかった」と話していました。



2/22

シアトル出発へ向け 派遣団結団式

ホームステイや視察、交流などを通して異文化を直接体験するとともに、外国や外国語に対する興味関心を高め、広い視野と意欲を持った児童・生徒の育成を図るため、日南町では平成27年度から米国・シアトルへ小・中学生を派遣する事業を行ってきました。今年度は、高校生2人、中学生10人、小学生4人の計16人の児童・生徒を派遣します。

青戸教育長は、「昨年派遣された子どもたちの変化を見て、『私も行きたい!』と応募してくれた人が多くいてうれしく思う。人と人、心と心のふれあいを大切にして、有意義で心に残る経験をしてきてほしい」と話し、児童・生徒を激励しました。



2/27

郷土の味を伝え継ぐ 郷土料理冊子をリニューアル



日南町食育推進協議会が発行している、日南町の郷土料理をまとめた冊子『にちなんの邑の味』がこの度再編集されました。この日は、完成した新しい冊子が同協議会会長の松本由美さんから中村町長へ手渡され、冊子完成の報告が行われました。新しい冊子は、子どもたちにも読めるよう漢字にふりがなを振り、幅広い世代に読んでもらえるよう再構成されています。松本さんは、「前会長・副会長を中心に力を合わせて作成したこの冊子を、たくさんの方に読んでほしい、活用してもらえると嬉しい」と話していました。

2/22

森林組合60周年記念の年に 新事務所完成

日南町森林組合の新事務所が完成し、竣工式が行われました。新事務所は、木材がふんだんに使用されており、建築に使用された木材の98%が町産材、85%が備前材の単板積層材（LVL）です。竣工式の後には見学会が行われ、平井知事も事務所を訪れました。

その後、総合文化センターさつきホールに会場を移し、設立60周年記念式典・新事務所落成式典が行われました。日南町森林組合の平田広志組合長は、「記念の年に新しい事務所が完成した。今後はこれまで以上に日南町の森林整備に努めたい」と話し、平井知事は「新事務所は木を使ったオフィスの好例。これから様々な企業や学校などでこういった建物が採用されれば」と話していました。



2/22

約30年前のALT・イルザさん来町

平成3年8月から1年間日南中学校で英語指導助手として勤務していたイルザ・ハッケネンさんが、約30年ぶりに日南町を訪れました。イルザさんは日南中学校を訪問し、見世直樹校長と当時について話をしたり、校舎内を見学したりしていました。当時の卒業アルバムや校舎から見える景色を見たイルザさんは、「とても懐かしい。日野川のある風景は変わっていない」と話していました。



2/8

環境保全活動で 多里広域協定に表彰状

湯梨浜町のハワイアロハホールで「令和5年度多面的機能支払研修会」が開催され、多里広域協定運営委員会（代表・糸田川啓さん）が「鳥取県農地・水・環境保全協議会会長表彰」を受賞されました。多里広域協定運営委員会は、農地や周辺施設の維持管理はもちろんのこと、オオサンショウウオの保護活動も行っており、地域内の住民だけでなく町内外の非農家も活動に参加するなど、環境保全活動も活発である点が評価されました。



2/16

日野高校 キャリア教育で文科大臣表彰



日野高校が、「第16回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞し、その報告のため同校の評倉寿樹校長が中村町長を訪問しました。

日野高校では、平成30年度から地域連携を通じたキャリア教育の推進と、県外からの生徒と地元住民との連携による地域活動の活性化などに取り組んできました。これらの活動が、地域社会の発展に貢献できる人材の育成と生徒のキャリア形成に寄与していると認められ、この度の受賞となりました。

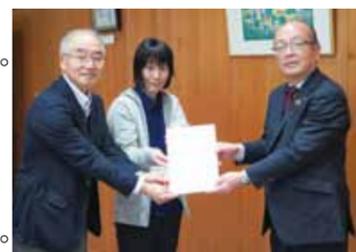
評倉校長は、「長年にわたり、生徒が地域に出かけてたくさんの人に出会い、自分の人生について考えてきた。今回の表彰は、生徒たちが頑張ってきた成果」と話していました。

2/20

老人福祉計画・介護保険事業計画の案が完成 中村町長へ提出

日南町では、「日南町老人福祉計画 介護保険事業計画」の第9期計画（令和6年度～令和8年度）の策定にあたり、幅広い関係者の意見を反映し、地域の実情に応じたものとするため、日南町介護保険運営協議会を設置し協議を行ってきました。

この日は、同会会長の入澤良子さんと副会長の藤原寿郎さんが、完成した計画案を中村町長へ手渡し、協議会の審議内容について報告しました。中村町長は、「支援を必要とする人に必要なサービスや施策が提供できるよう努めていく」と応えました。



2/7

宝くじの助成金で 整備しました！



日南町消防団では、（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施している「地域防災組織育成助成事業（コミュニティ助成事業）」を活用し、火災時に着用する防火衣21着を整備しました。今後の消火活動での活躍がより一層期待されます。

このように、宝くじの社会貢献広報事業は、安全な



地域づくりなどの取組に対して助成を行い、地域社会の健全な発展に寄与しています。

2/15

日野郡鳥獣被害対策協議会が 農水省から表彰状

農林水産省が主催する「鳥獣対策優良活動表彰」において、日野郡3町で構成する日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊が、被害防止部門（団体）の農村振興局長賞を受賞しました。この表彰は、鳥獣被害防止や捕獲した鳥獣の食肉（ジビエ）の利活用などに取り組み、地域に貢献している個人や団体を表彰するものです。

農林水産省（東京都）で開催された表彰式には、同



協議会会長の中村町長が代表して出席し、全国から選出された受賞者とともに表彰を受けました。

2/18

関西町人会 4年ぶりに開催

関西在住の日南町出身者・縁故者で組織する関西日南町人会が大阪市内で開催され、会員32人と町関係者ら合わせて約50人が出席しました。参加者は、現在の日南町について情報交換や意見交換をしたり、懐かしい話に花を咲かせたりし、和やかな様子で交流を深めていました。会長の三上紀忠さん（阿毘縁出身）は開会のあいさつの中で、「今年の干支である龍のように、日南町は大きな成果をあげる年にしてほしい」と話していました。

